

平成 22 年度 高知県地球温暖化防止県民会議 第 2 回幹事会要旨

日 時：平成 22 年 10 月 18 日（木曜日）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

場 所：森連会館 4 階（高知市本町 4 丁目 1－35）

出席者：別紙名簿のとおり

1 県民会議について

(1) 県民会議の会員数

総会開催直後の 238 団体から 5 団体増加して 243 団体となっている。

(2) 県民会議の広報活動

県民会議のホームページは 6 月 21 日、県民部会ホームページは 8 月 19 日に開設し、事業者部会ホームページについては準備中であるが、近日公開予定。マスコミでの広報活動についてもラジオを中心に実施しており、RKC ラジオの情報番組を中心に、マイバッグキャンペーン、省エネアドバイザー派遣事業、おらんくのストップ温暖化宣言事業者募集、エコ通勤ウィークの PR を実施した。

2 県民部会について

(1) 部会の進捗状況について

資料 2 のとおり、前回幹事会以降、木づかい、グリーンコンシューマーのワーキングを開催している。

(2) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金について

県民部会の提案事業として、1 件申請し採択された。

今回は新たに 2 件の提案事業について幹事会で審議いただいたうえで、申請を予定している。

(3) 地域ブロック会について

予定の 3 回に加えて、嶺北では町村からの要望を受けて実施した。成果として、嶺北地区で何名か推進員を推薦してくれる見込みである。

(4) 環境家計簿について

子ども向けと一般向けを作成した。

環境家計簿については、いろんな取り組みがされてきているが、領収書が月 1 度になることなどから、定着しなかったため、今回は子どもを対象にして、削減した分を小遣いにする等の契約を親子で交わすような仕組みを考えてみた。現在、いの南小学校で 5 年生 53 名を対象に出前授業を 1 回実施している。

今後は 100 家庭を目標にストラップ等景品を用意し、広く参加募集を行う。個別には、いの町の枝川小学校と生協に取組への参加をお願いしている。

来年度は 4 月から教育委員会等を通じて参加を呼びかけたい。

一般向けについては、情報提供と県のホームページの環境家計簿へ誘導する仕組みを設けて作成した。

いろんな場所で配布して普及につなげていきたい

(5) 木づかいワーキングについて

県産材の利用促進につなげるような提案を協議した結果、ライフスタイルに応じた木づかいのアプローチ、小学校進学までは親へ、それ以降は本人へのアプローチが必要ではないかという結論に達した。

現在、子どもの出生というような感動体験に併せて、積み木をプレゼントしてはどうかというような提案が出てきている。

積み木のプレゼントをきっかけとして、ライフステージに合せた木づかいに誘導できるように冊子をつくる必要があるのではないかと考えている。

ただ、誕生のタイミングで配布となると、1NPOがではなく、保健師さんとか行政が加わらないと情報も入らないし、施策としてとりあげてほしいということで部会から提案させていただいた。

#### (6) グリーンコンシューマーワーキングについて

昨年度からレジ袋削減のキャンペーンを期間を2ヶ月に延長して実施しているが、本年度も参加者は会員に留めている。

ワーキングからの提案事業であるエコホテルについては現在、アンケートの回収を実施しているところ。

グリーンコンシューマについては、議論の幅が広くてまとまらないので、来年度の運営については今後のワーキングや部会の中で検討していきたい。

### 3 事業者部会について

#### (1) 部会の進捗状況について

地域ブロック会としてセミナーと併せて開催するようにして募集したが、四万十市では2事業者しか参加申し込みがなかったため、中止した。

県民会議の会員が高知市に集中しているため、他ブロックでの開催は難しい。郡部での会員増の取組が必要だと考えている。

#### (2) エコアクション21について

建設業については県の建設業入札参加資格審査の加点が5点から20点に増加したこともあり、参加・関心が増えている。講習会も、建設業協会開催のもので、30社、あいおい損保開催のもので、10社と定員を一杯となっているため、事業者部会としても急遽講習会を追加開催することとした。

その他の業種については、関心を持ってもらうきっかけとしてまず、無駄なエネルギー使用が経営をどう圧迫しているかというセミナーがあって、その後にエコアク21というような手法も考えてみたい。

実際に受審を目指す事業者を対象とした上級編の3回シリーズについても3月末にむけて追加開催する。

講習を受審する事業者は最終で90社程度、うち来年の取得に向けて動き出すのが70社程度の見込み

審査人については、ISO等を中心に発掘していきたい。

#### (3) 省エネアドバイザー派遣事業について

現在実施しているのが2社、申込中が1社である。パンフレットの送付程度では弱いので、今後積極的に利用を呼びかけていく。

(4) おらんくのストップ温暖化宣言事業者募集について

9月から募集開始している。商工会議所の環境委員会や事業者部会で積極的な参加を呼びかけていく。

(5) エコ通勤ウィークについて

11月15日から21日まで実施する。パンフレット等は配布済だが、申込受付中なので、参加数等は判らない。

(幹事) 1週間のイベントでも、ICカードですかのりようをみると、動機付けにはなっているので、来年度も引き続き実施していくべき。

### 3 行政部会

(1) 部会の進捗状況について

部会については10月に第2回を開催した。

(2) 地方公共団体実行計画の策定の推進について

第2回部会で講習会を実施した。また、市町村のうち、実行計画を策定していないところについては、行政部会の部会長が直接訪問し、首長に対して要望を行っている。議会中でまだ3自治体に留まっているが、今後増やしていく。

(3) グリーン購入の推進について

部会等で取組の呼びかけを実施している。

(4) 地球温暖化防止活動推進員の活用及び増員について

部会やブロック会で呼びかけている。嶺北地域の町村でゼロだったが、数名推薦してもらえる見込。

(5) エコ通勤の促進

部会で全市町村に参加を呼びかけた。

### 4 交通エコポイント原資の還元方法について

ですかの交通エコポイントの社会還元活動として、小学生を対象にした地域や学校での活動で公共交通を利用する取組に、ですかカードを貸出することにより、運賃を助成している。教育委員会から全小学校に周知したところ飛躍的に利用が増加し、現時点で27万円の利用がある。80万円の原資があり、終われば終了だが来年度も続けていきたい。

要綱・申込み方法の説明、P42より利用枚数が258で69,370円となっているが、現時点では27万7千円に増えている。今後も広く使っていただけるように普及していきたいと考えている。

### 5 協議事項（豊かな環境づくり総合支援事業費補助金への申請事案）

(1) 「あっ！そうなんだ！」気づいて下さい「賢い家電の知識」おひろめ推進事業

県民部会部会長より事業説明

以下の質疑応答を経て、全会一致で承認された。

問 パンフレットについてはどの時期の配布を想定しているか。

答 年末の大掃除に間に合わせようとしている。

電気商業組合は全国組織としてある程度のデータを持っているので、それを元にして、年末の大掃除向けのパンフレットは作成する。

2月までを目処に県内でデータを収集し、リーフレットを作成したいと考えている。

エアコンの掃除はやるが、冷蔵庫はやっている人が少ない。リーフレットの中でポイント等の情報提供をしていきたい。

(3) 高知の海の温暖化影響啓発事業

県民部会事務局より事業説明

以下の質疑応答を経て、全会一致で承認された。

問1 5セットつくって常設&貸し出しを行うというが、常設だけでは効果が薄いのではないか。具体的な講演等とセットにしないといけない。

答1 具体的には書いてないが、使って講演等を行うこととしている。

問2 実態把握だけではなく、対策も示していかないといけないのではないか。

答2 それについては今後の予想ということで示していく予定であるが、地球規模で起こっていることの対策やその効果も盛り込んでいくのは難しい。

6 その他

次回の開催は、補助金の申請があれば、12月中に開催し、日時については改めて事務局が文書で調整することを確認して閉会した。